

平成24年10月23日

記者発表

国土交通省 福島河川国道事務所

災害を想定した自治体への派遣訓練の実施

～公衆通信が途絶した自治体の代替通信を提供するための訓練の実施～

伊達市で実施される総合防災訓練のなかで、「国土交通省が保有する災害対策用機械の設営」及び「リエゾン（災害対策現地情報連絡員）派遣」の支援訓練を実施します。

訓練では、大規模災害により公衆の通信網が途絶したと想定し、国土交通省が保有する各種の通信機器を自治体に展開することで、画像や電話の通信環境を確保し、迅速な災害対応を行うものです。また、職員が突発的な災害発生時においても迅速な対応が行えるよう、実践的な訓練を通じて対応能力の向上を図ります。

■日 時 平成24年10月27日（土） 8時00分～12時00分

■場 所 伊達市役所、保原町舟橋地内東根川堤防、保原小学校

■内 容 リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣訓練
自治体への国土交通省による代替通信確保訓練（災害画像等）
画像配信訓練（旧伊達町CATVからの画像提供）の実施
画像送信訓練（福島県内在局の各テレビ放送局へ画像送信）の実施

■使用防災通信機器

衛星通信車、衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）

排水ポンプ車、対策本部車 等

参考：東日本大震災時の通信支援状況（別紙参照）

※ 当日の気象状況等により、訓練が中止となる場合があります。

〈 記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ 〉

問い合わせ先

【伊達市総合防災訓練関係】

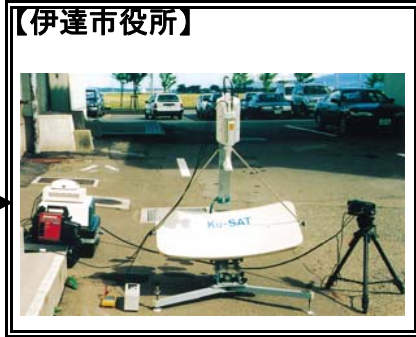
伊達市 市民生活部 環境防災課長 佐藤 邦男
住所：伊達市保原町字舟橋180番地 電話：024-575-1197（直通）

【自治体への派遣訓練関係】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長（河川） 畠山 浩晃（内線204）
防災課長 齋藤 清見（内線281）
住所：福島市黒岩字榎平36 電話：024-546-4331（代表）

伏黒出張所長 郷家 康弘（内線21）
住所：伊達市箱崎字中32-1 電話：024-583-3233（代表）

平成24年度 伊達市総合防災訓練における衛星通信回線構築イメージ



Ku-SAT(建設栗子国道)

画像撮影

8:00 ~ 8:25の
伊達市役所訓練状況

- 災害対策本部設置
- 訓練開始申告
- 防災関係機関到着



Ku-SAT(建設荒川砂防)

画像表示



モニタ(70型液晶)

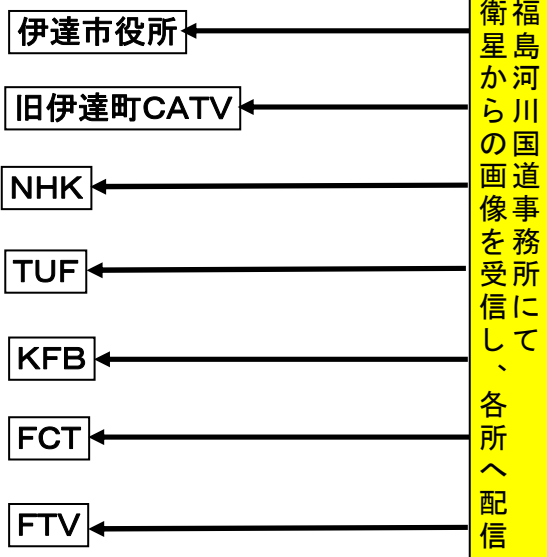
画像撮影

9:20 ~ 12:00の
保原小学校訓練状況

- 避難訓練
- 救助訓練
- 初期消火訓練
- 炊出し・配給訓練
- 給水訓練
- その他



衛星通信車(建設福島)



凡 例

;国土交通省保有の各種通信機器

被災自治体に、 通信機器を 配備。

支えに。

被災した市町村の途絶した通信を衛星通信車などが確保。

被災者にとって命綱ともいえる通信が壊滅状態に陥った。宮城県南三陸町などのように市役所そのものが被災し、行政機能を喪失した自治体も出現した。

この被災翌日から国土交通省では、全国の地方整備局から災害対策車などを調達し、4日目までに16自治体に送り込んだ。4月15日のピーク時には192台を配備。これによりすべての市町村との通信が確保され、被災状況の把握から支援物資の要請まで自治体の声が届くこととなり、被災者への支援に繋がった。



大船渡市役所出動
衛星通信支援

- ・衛星通信車
- ・電話 FAX



田野畑村出動
衛星通信支援

- ・町長に操作説明
- ・職員活用



気仙沼市出動
津波監視通信支援

- ・消防本部にも伝送
- ・24時間監視

4県31市町村へ 派遣。

支えに。



南三陸町長をサポートする
東北地方整備局のリエゾン

2011.3.22

派遣された連絡要員が、県や市町村をサポート。

被災した県や市町村に国土交通省の職員を派遣し、連絡員として県や市町村の中で働いた。

リエゾン(災害対策現地情報連絡員)と名付けられた彼らは、自治体のニーズを把握し、さまざまな支援機関との調整を実施。国と県との調整や法律の解釈にたけ、災害対応に追われる自治体職員に成り代わり、市長などの片腕としてサポート。リエゾンは4県と31の市町村、自衛隊に派遣され、3月23日のピーク時には96人に。災害発生直後から6月30日まで、延べにすると3,916人にも達した。



リエゾンによる自治体支援活動
(ポンプ排水計画打合せ) 東松島市



国土交通省 被災地への通信支援状況

～ 途絶された被災地の通信を確保し、生命線として活躍 ～

◇東日本大震災における活動

